

地域防災連続セミナー

～しなやかなまち福知山を目指して～

参加
無料



第4回のセミナーでは、国内外で活動するNGOの実践から、地域に根ざした支援とは何かについて考えます。災害後、いち早く動く市民の力を信じ、復興へと結びつけていくのか、実践者の視点から理解を深めてみませんか。

第4回

KOBEから世界へ ～支え合い・学び合いの現場から～



日時 令和7年12月12日(金)18時～19時

場所 市民交流プラザふくちやま 4-1(4階)

定員 20名

講師：吉椿 雅道 氏

10代より武術や東洋医学を学ぶ傍ら、障がい者、不登校児、先住民のNGOにかかわる。1995年阪神淡路大震災で足湯ボランティアを始める。1999年よりアジアの現場を歴訪。2004年より災害NGOのスタッフとして国内外の被災地で復興支援に従事。2013年CODEの事務局長に就任。現在、被災地支援の傍ら、多数の高校・大学で非常勤講師を務める。関西NGO協議会常任理事、Kansai-SDGs市民アジェンダ運営委員。2016年、NHK「プロフェッショナル仕事の流儀」に出演。



第5回のセミナーでは、東日本大震災の被災地に、市民、行政、大学が連携した地域ぐるみの支援について、「チーム・オール弘前」の15年の歩みから理解を深めます。継続的なつながりが必要な震災からの復興の中で、どのようにして地域の力を結集させ、支援を行ってきたのか人と地域を支える力を見つめ直してみませんか。

第5回

東日本大震災から15年をふりかえる

～チーム・オール弘前の原動力とその可能性～



日時 令和7年12月19日(金)18時～19時

場所 市民交流プラザふくちやま 4-1(4階)

定員 20名

講師：李 永俊 氏

弘前大学人文社会科学部教授・同地域創生本部ボランティアセンター長・一般社団法人みらいねっと弘前 副代表。1968年韓国生まれ。名古屋大学大学院経済学研究科修了、博士(経済学)。2003年に弘前大学に着任。専門は労働経済学。地方の雇用問題や地域間移動に関心が高い。東日本大震災発生後は、教員有志とともに弘前大学ボランティアセンターを立ち上げ、岩手県野田村への支援・交流活動を展開。現在は一般社団法人みらいねっと弘前と連携し、子どもの居場所づくりや持続可能な地域づくりに取り組んでいる。



右記QRコードより申込フォームにてお申込みください。

締切：令和7年12月2日(火)

※当日参加も可能です。直接会場へお越しください。

※手話通訳者、要約筆記者(難聴者だけでなく、高齢者、聴こえにくい人に内容を文字で伝える通訳)の派遣を希望される方は、2週間前までに上記QRコード内で申込みいただくか、地域防災研究センターまで直接ご連絡ください。



概要：<https://www.fukuchiyama.ac.jp/institutions/bosai/>
問合せ：地域防災研究センター TEL 0773-24-7100

福知山公立大学

突然の自然災害や災害に対する準備と知識は、私たちの生活や地域の安全を守るために欠かせません。
当セミナーでは、各テーマごとに講師に専門家の先生をお招きし、幅広い視点からのアドバイスや情報を提供していただきます。
ご家族やご友人と一緒に、地域の安全を共に考える機会として、ぜひご参加ください！

第6回

草の根の震災記録は 何を駆動させるのか

令和8年

1月9日(金)

～阪神・淡路大震災の体験募集事業
「30年目の手記」から考える～

講師：高森 順子 氏

(情報科学芸術大学院大学産業文化研究センター研究員)



第7回

令和元年台風から生まれた 人形劇「やまのおおじゃくぬけ」

令和8年

2月6日(金)

講師：瀬尾 夏美 氏

(作家・画家)



第8回

終わりの見えない災害、 多重被災の実像

令和8年

2月27日(金)

講師：小林 秀行 氏

(明治大学情報コミュニケーション学部 准教授)



第9回

令和8年

3月22日(日)

能登半島地震から2年を振り返る

～福知山からの支援活動から～

地域防災研究センター・大門研究室



過去のセミナー
アーカイブ配信中！



今後のセミナーも配信していく予定です。是非ご視聴ください！

※見逃し配信を行わない講演もございます。予めご了承くださいませ。